

平成28年度アクションプラン

	戦略目標	アクションプラン	具体的な施策				
訪日 ゲ ス ト の 視 点	JSTO会員企業の相対的競争力および満足度向上	・会員メリットの整理、充実、利用促進 ・JSTO活動の透明化、明確化					
	魅力的なコンテンツの集約	・おもてなし事業者リソースによるショッピング情報の充実	・おもてなし事業者イベント情報の充実 ・おもてなし事業者イチオシ商品情報の充実 ・クーポン情報の充実				
		・協会主催のコンテンツ魅力向上 (Japan Shopping Festival)	・ツーリストステーションの運営 ・エリアプロモーションの実施 ・フォトコンテストの実施 ・プレゼントキャンペーンの実施 ・ツーリストニーズに基づくショッピング情報の収集・発信				
			・共催等による多彩なコンテンツ強化 (会員企業からの情報収集に限る)	・メインスポンサーJCB様とのキャンペーン連携 ・会員企業が企画しているキャンペーンとの連携 ・売れている商品、生産者のオススメ商品、地域名産情報等のモノ情報の発信 ・飲食等関連情報の発信 ・季節関連情報の発信			
				「日本の魅力視点」×「訪日ゲスト視点」での編集	・編集組織の確立(訪日ゲスト目線活用等) ・年間計画(月別計画)の早期告知 ・強化期間の魅力づくり	・編集長の役割を担える協力者(社)を設定 ・編集デスクとインターン、外部ライター等による編集チームの組成 ・クラウドを利用した外国人ライターからのエリアの情報収集、発信強化(あるいはその仕組み作り) ・編集記事の年間発信スケジュールの早期作成、告知の徹底 ・プロモーションテーマの情報発信強化	
					訪日ゲストとの接点強化	・海外における接点強化(旅行博、観光業等)	【訪日前ゲストとのBtoC/BtoBコンタクト】 1. 海外旅行博への出展 ・強化国／エリア:台湾、香港、タイへの出展 ・簡易アンケート(ニーズ調査)の実施 ・共同出展事業者の確保 2. セールスコール等を活用したトラベルエージェントとの連携 ・エージェントを経由したツーリストへの訴求 3. 海外メディアとのネットワークづくり 4. 会員企業を通じた海外への情報発信強化
		・WEBサイトにおける接点強化(Japan Shopping Now等)					・SEO対策の実施 ・チャネルの拡大 ・JNTO台湾および香港とのSNS連携 ・UIの改善(モバイルファースト)、スマホページの作成 ・中国からのアクセス増加対策 ・アクセス拡大を目的とした広告の実施
			・国内に置ける接点強化(観光業、おもてなし事業者、STS等)				・ショッピングツーリズムステーション運営による訪日旅行者への接点強化と訪日目的等の情報獲得 ・交通機関でのポスター掲出等による歓迎イメージ創出 ・エリアプロモーションにおける歓迎イメージ創出 ・小売店頭でのステッカー等の掲載 ・会員企業およびJNTO認定観光案内所への通年リーフレット(アプリダウンロード情報を含む)の設置
				おもてなし事業者の「質」の向上		・対応力強化に向けた勉強会、ワークショップ等の実施	・各種セミナーの実施 ・全国のおもてなし事業者のインバウンド対応力向上に向けた各種研修、講師派遣の実施 ・インバウンドソリューションの提案
						おもてなし事業者の「数」の増加	・賛助会員傘下事業者の参加促進
		・商店街単位への参加促進	・エリアプロモーションと連動した獲得施策の運営				
	・本部、支部での説明会定期開催	・各種セミナー・展示会等での事業者募集説明を開催					
	業務運営の視点	JSTO支部活動の活性化	・支部活動リソースの確保(予算、本部情報、ネットワーク)	・支部活動参加会員の拡大 ・本部・支部連絡会の実施(3ヶ月に1回) ・支部年間計画の立案・実施			
			・エリアプロデュースの実施および支部独自活動の定例化(セミナー、報告会、エリア事業、行政との情報交換等)	・本支部合同会議の定例化(年2回) ・支部主体セミナー・報告会等の実施(セミナー年2回、支部会議年2回)			
		協会未参加小売店へJSTOの価値の訴求	・おもてなし事業者に対する既存メニューの整理・発信	・インバウンド事業の成功事例、ケーススタディ共有の場として、JSTOセミナー&商談会を定期的に開催する ・会員が提供するメリットの集約・一覧化			
			・公式サイト充実	・おもてなし事業者に対する協会としての付加価値向上の施策実施			
	・公式サイト、メルマガ配信先数の拡大		・コンテンツ内容の充実とアクセス強化 ・メルマガ登録拡大施策の実施				

学 習 と 成 長 の 視 点	ノウハウの定型化	・訪日ゲスト、おもてなし事業者から収集した情報レポート作成	・既存事業から得られる情報に基づくレポート作成（スケジュール化を行う）
		・認証制度の検討	・訪日ゲスト、おもてなし事業者目線での各種ルール of 立案・提言を外部組織に対して行う
		・ノウハウのマニュアル化（インバウンドノウハウ教材化）	・既存資料の精査、定型化フォーマットへの落とし込みを行う
			・事務局会議での共有
	協会・理念の認知度向上	・CI、理念の定型化と活用推進	・活用範囲とツールの検討を行う
		・広報機能の強化	・機能役割の整理（専任者の設置）
			・月次での広報内容の検討
			・広報機能の強化
		・情報発信先の拡大	・他団体を活用した情報発信
			・自社メディア（WEB、メルマガ）での情報発信強化
			・会員・非会員向けセミナー・説明会等での協会理念の発信徹底
	連携事業のモデル確立	・連携事業運営フローの確立	・運用ルールの策定
		・連携事業への会員参画の促進	・事例の共有
			・事務局情報の公開
	基盤事業の実行性向上	・協会事業の明確化、透明化、活性化	
		・事務局運営の明確化、透明化、効率化	
	情報収集の場づくり	・訪日ゲスト関連情報収集の定期実施	・海外旅行博でのアンケート実施
			・ツーリストステーションでのアンケート実施
			・訪日ゲスト関連アンケート作成および収集の運営モデル確立
		・会員、おもてなし事業者からの情報収集の定期実施	・木曜定例ミーティングの活性化（内容充実、情報整理、発信強化）
			・会員かつおもてなし事業者へのウェブ調査の実施
			・会員との情報連携におけるウェブ活用
		・外部組織関連からの情報収集の定期実施	・外部情報の定型化、リスト化
	作り手との連携強化	・メーカー企業向けメニューの整理	・メーカー企業向けメニュー整備
		・各業界団体の賛助会員化の推進（小売業団体、観光団体、地域団体など）	
		・行政（観光庁、JNTO、経産省、農水省）や地域DMOとの連携強化（情報の共有定例化）	
	協会の運営リソース拡大	・会員獲得活動の強化	・定例説明会を通じた獲得強化
			・各種講演やセミナーでの獲得強化
			・既存会員、賛助会員を通じた会員獲得強化
		・協会運営への会員参加推進	・ワーキンググループ活動の活性化
			・会員企業への委託実施